



2022年10月12日

各位

会社名 フルサト・マルカホールディングス株式会社  
代表者 代表取締役社長 古里 龍平  
(コード：7128 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 管理本部 本部長 藤井 武嗣  
(TEL. 06-6946-1600)

## 京都大学との共同研究契約の締結に関するお知らせ

フルサト・マルカホールディングス株式会社（大阪市、代表取締役社長 古里 龍平、以下当社）は、国立大学法人京都大学（京都市、学長 湊 長博、以下京都大学）と、「牛の行動とバイタル情報の統合モニタリングシステムの構築」を目的とした共同研究契約を締結しましたのでお知らせ致します。

### 記

#### 1. 背景

日本の畜産業界において、慢性的な人手不足と高齢化の進行により、肉用牛飼養戸数は年々減少しております。それに関連して、1戸当たりの飼育頭数は増加傾向にあることで、畜産農家における負担はさらに増大し、健全な経営存続が危ぶまれかねない状況となっています。

そのような状況において、畜産業を持続可能な形態へ転換していくためには、遅れているIT化を速やかに進展していくことが必要であると考えられています。京都大学大学院農学研究科では、牛の行動と体温、心拍数などのバイタル情報を、IoTを用いて管理する研究を検討しておりました。

当社はセキュリティ事業における監視モニタリング技術のノウハウを用いて、製造業においてデジタルデータの活用により業務プロセスの改革、品質・生産性の向上を実現するスマートファクトリーへの取組みを重点施策に掲げております。

今回、京都大学大学院農学研究科の取組みを知る機会に接し、スマートファクトリー分野の知見を、「牛の行動とバイタル情報の統合モニタリングシステムの構築」に活かすことが出来ると判断し、京都大学大学院農学研究科との共同研究における契約を締結しました。

#### 2. 研究目的・内容

目的：牛の様々な行動とバイタル情報をモニタリングできる汎用性の高いシステムの構築

内容：カメラとマイクによる画像・音声情報と、センサーによるバイタル情報の取得・解析によるシステム化の研究

### 3. 相手先の概要

(1) 名 称	国立大学法人京都大学
(2) 所 在 地	京都市左京区吉田本町3 6 番地 1
(3) 代 表 者	学長 湊 長博
(4) 設 立	1897 年 6 月
(5) 当 社 と の 関 係	人的、資本的、取引関係はありません。また、関連当事者に該当いたしません

### 4. 提携の日程

(1) 決 議 日	2022 年 9 月 20 日
(2) 共同研究契約締結	2022 年 10 月 12 日
(3) 契 約 期 間	自 2022 年 11 月 1 日 至 2024 年 10 月 31 日

### 5. 今後の見通し

当研究は、モニタリング・センサリング技術を用いたシステムの構築により、畜産業の IT 化に働きかけを行い、将来的なスマートファームの実現につなげるものであり、今回の協定による当社グループの業績への影響は、軽微であると考えられます。今後、開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせ致します。

以上



京都大学 大学院農学研究科附属牧場（京丹波町）